

# 会 議 議 事 録

1 会議名	令和7年度 第2回 長岡市栃尾美術館協議会
2 開催日時	令和8年3月16日（月曜日） 13時30分から15時まで
3 開催場所	長岡市栃尾美術館 1階 アトリエ
4 出席者名	<p>（委員）8名  境野 委員、星野（正） 委員、新澤 委員、有本 委員  安藤 委員、星野（素） 委員、渡辺 委員、大野 委員</p> <p>（事務局）4名  梅沢 中央図書館長、諏佐 栃尾美術館長  坂井 栃尾美術館主査、酒井 会計年度任用職員（学芸員）</p>
5 欠席者名	なし
6 議題	<p>（1）令和7年度事業報告について</p> <p>（2）令和8年度事業計画（案）について</p>
7 審議結果の概要	議題（1）、議題（2）について事務局提案のとおり決定した。
8 審議の内容	
事務局	<p>議題（1）</p> <p>① 令和7年度事業報告について</p> <p><b>【展覧会事業】</b></p> <p>（資料1-1、1-2、1-3、1-4により説明）</p> <p>説明後、以下の質疑・意見交換があった。</p>
会長	この説明に対して、ご質問等はあるか。
委員	保育園でたびたび寄せてもらっている。「こどもの作品展」の展示は、保育園とは飾り方が異なり職員の勉強になる。また、工作体験では、普段と違う人から指導を受けることで子どもたちが生き生きとする。非常に良い企画なので、今後も継続をお願いしたい。
委員	来館者数にクマ出没の影響があったとのことだが、外部の方に正確な情報が伝わっていたか懸念がある。支所から正確な情報を得るなど、誤解を招かない発信をした方が良い。
事務局	美術館では正確な情報が得られなかったため、長岡市 SNS アカウント「ボーサイダー」の情報をリンクして発信した。
会長	クマのニュースはインパクトが強く、「長岡で出た」と聞くとすぐ近くにいる印象を持たれ、怖がられてしまうのではないかと。

委員	外部の人は栃尾の地名が分からず、展覧会のチラシを渡すと「あのクマのところね」と言われ、来館をためらう要因となった。
事務局	美術館近く（上の原）で人身事故があったため、安全の保証ができず「お気をつけてお越しください」としか案内できなかった。
委員	栃尾支所は詳細情報を把握しており、必ず学校へ FAX 送信している。支所から正確な情報を得る方が良い。
会長	今後の自治体の対策に期待したい。
委員	金澤翔子展について、福祉関係への PR を提案したが、長岡花火等で利用者が増えるなどの影響はあったか。
事務局	特に増加はなかった。会期中は熱中症アラートにより「不要不急の外出を控える」呼びかけがあり、広報の効果が弱まった。
委員	新潟日報には掲載されたか。
事務局	取材を受けたが、会期終了後に来館された方もおり、広報が間に合わなかった可能性がある。
委員長	金澤さんは集客力のあるコンテンツであるにもかかわらず、来館者が伸びなかったのは広報面で課題があるのでは。来年度の改善点として検討してほしい。
	議題（２） ② 令和８年度事業計画（案） （資料２により説明） 説明後、以下の質疑・意見交換があった。
会長	この説明に対して、ご質問等はあるか。
委員	栃尾地域の子供が減っており、この３月末で１園閉園となる。こどもの作品展の出品も難しくなっているため、見直しが必要ではないか。
委員長	展覧会として定着しているが、地域事情を踏まえ、考え方を変えることも必要かもしれない。ただし、栃尾に来たことのない子ども・親子が来館するきっかけになる点は良い。
委員	ロゴマークについて、長期的に使用できるものがあれば、チラシや封筒など

	様々な媒体で使用でき、目に触れる機会が増えて良い。
事務局	ロゴマークは30周年専用で作成したもので継続使用は難しい。
委員長	造形大の学生は得意なので、相談してみたい。
委員	エコバッグ等で使っているリスの柄を利用したり、コンペ形式で盛り上げたりする案も考えられる。
委員	夏休みの「蝶の美展」では子どもたちにチラシを配る予定はあるか。
事務局	こめぷらでのPRが中心になると思う。
会長	メインビジュアルはどう決めるのか。
事務局	科学博物館監修のため、相談して決定する。
会長	ターゲットが小中学生なら、子どもが好むビジュアルを選ぶ方が良い。
委員	「館所蔵品展」で栃尾の古い作家のてまりが展示されるので、6月のてまりまつりとの連携を検討してほしい。てまり目当てで来た人が美術館にも来る可能性がある。
委員	こどもの作品展については、地域の少子化を踏まえて工夫が必要。例えば、美術を志した先輩（トチオノアカリの発案者で現在美大生）の作品を併せて展示し紹介するなどの方法もある。
委員	「とちびまつり」は楽しい行事だった。今後再開の予定はあるか。
事務局	規模が大きくなりすぎ見直しが必要となったが、中止ではなく、準備を整えば再開したい。
会長	形を変えながら継続し定着した行事であり、間が空くと忘れられるので大切にしたい。
委員	「蝶の美展」では、小学校3年生の蝶の学習や、夏休みの自由研究に関連するワークショップがあると良い。栃尾では標本作りが盛んだった時代もあり、親世代の来館にもつながる。 こどもの作品展は、子どもの数が減っても、出品数を増やす、来館しやすい時期に変更するなど来館者増につながる可能性がある。 学校としては、作品を出すなら12月がぎりぎり、それより早いと難し

	<p>い。美術の授業時数も減っており、作品づくりの負担もある。</p> <p>1月展示（後期）は、大雪で行けないことが多く残念。</p>
委員長	<p>部活動の地域移行により美術系クラブから出品してもらう方法はどうか。</p>
事務局	<p>大島中に14名程度の部があると聞いている。造形大の協力も含め、状況を担当に確認する。</p>
委員	<p>Come100クラブについては、美術はまだ学校単位での活動が多い。体育はクラブ移行が進んでいるものの、移行期であり整備が必要。</p>
委員	<p>新潟市美術館で開催中の、長岡の松田ペットなどを扱った展覧会が大盛況だった。立地の違いはあると思うが、長岡市の美術館として、ぜひ気概をもって取り組んでほしい。</p>
委員	<p>子どもの作品展以外の展示はすべて見た。観覧者数など課題はあるかもしれないが、どれも見応えがあり努力されていると思った。今日の学校の話も参考になった。</p>
委員	<p>川口サービスエリアの手描きポスターを一人で担当していた方が定年となり、見られなくなるという新聞記事があった。アートとして価値がある。新潟市美術館では過去の作品も見られ、付加価値になっている。</p>
委員長	<p>菊盛美術館のコレクションは素晴らしいが、市内でも知らない人が多い。他にも小国の山口家資料館や紙の美術博物館など、単独では難しくても組み合わせれば展開できるのでは。コンテンツの掘り起こしも有効だと思う。</p>
委員	<p>クラウドファンディングの返礼品が多く、寄付の趣旨が分かりにくかった。今年度限りなのか。</p>
事務局	<p>ふるさと納税型ガバメントクラウドファンディングで、栃尾美術館への支援を目的に寄付を募った。返礼品は市民は対象外。開館30周年に合わせた取り組みのため、来年度は実施しない。</p>
委員	<p>美術館のInstagramをもっと拡散したい。ハッシュタグは入れないのか。</p>
事務局	<p>まだ慣れておらず入れていないが、検討する。</p>
会長	<p>本日の議事は以上で終了した。ご協力ありがとうございました。</p>